

V3狙う大同、オムロンにライバル勢が挑む ～第32回日本ハンドボールリーグ 9月22日開幕！～

第32回日本ハンドボールリーグは9月22日に愛知など3会場で熱戦の幕を切って落とす。参加チームは別項のとおり男子9チーム、女子6チームで、男子が2回総当たり、女子は3回総当たりのレギュラーシーズンを戦い、男子上位4チーム、女子上位3チームがプレーオフで優勝を争う。なお、プレーオフはオリンピックIH F予選会(女子)のために初めて男女別開催となり、女子が08年2月16～17日に大阪・住吉スポーツセンター、男子は3月15～16日に東京・駒沢体育館で行われる。

年内は9月の開幕から12月中旬まで秋田国体(10月4～8日)をはさんで毎週試合が続くハードスケジュール。女子は第18回世界女子選手権(12月2～16日・フランス)があるため11月下旬からブレイク期間に入り、男子と同じく来春1月12日から熱戦再開となる。

男子では清水監督のもとで新スタートを切った大同特殊鋼の3連覇なるかに注目。今シーズンから外国人選手がオンコート1人制となることで白元詰-李才佑の強力コンビを同時に起用できない影響が微妙に勝敗に影響しそうだが、前回リーグで試合キャリアを積んだ武田、富田、ルーキー岸川、服部ら若手の成長で乗り切りたいところ。

ストップ・ザ・大同に燃えるライバル勢の中では、7月の全日本実業団選手権で安定感に満ちあふれた攻守で優勝を遂げた湧永製薬が、10年ぶりの日本リーグタイトル奪取に並ならぬ意欲を燃やしているほか、昨シーズン3位に終わった悔しさをぶつける大崎電気、スピードとパワーに年々磨きがかかるトヨタ車体、2年ぶりのプレーオフ進出に照準を定めるトヨタ紡織九州、さらには前回5位のHonda(ホンダから改称)らでめまぐるしい順位争いを展開しそう。このほか新戦力の台頭でチーム力に厚みを加えた北陸電力の戦いぶりにも注目。豊田合成、トヨタ自動車の両チームは若い力を前面に押し出してまずは1勝ゲットに全力を注ぎたい。

女子は大同特殊鋼と同じく3連覇に挑むオムロン中心の展開となるのは必至。やはり外国人オンコート1人制となってポスト許順栄が外国リーグ転籍したもの、左腕・洪廷昊、佐久川、坂元、水野、GK勝田らキャリア豊かな名手たちの試合運びの巧さ、勝負強さが光る。しかし、そんなベテラン勢に続くべき中堅、若手の台頭という点では課題を残しており、前回2位の広島メイプルレッズ、3位のソニーセミコンダクタ九州、7月の実業団選手権で2位に食い込んだ北国銀行の挑戦ぶりが見ものだ。HC名古屋、三重バイオレットアイリス(三重花菖蒲から改称)は上位陣との差を少しでもつめるためにも第1週の直接対決を制して勢いづきたいところ。

第1週は男子が大同特殊鋼に大崎電気、湧永製薬にトヨタ紡織九州、女子もオムロンにソニーセミコンダクタ九州が挑むなど、今後の順位レースを左右する好カードが組まれており、Honda-北陸電力、女子の広島メイプルレッズ-北国銀行、三重バイオレットアイリス-HC名古屋戦も1点をめぐる白熱した戦いになりそうだ。



V3に闘志を燃やす④大同・高木⑤オムロン・佐久川

第1週の日程

9月22日(土)・愛知・中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00～(男)	大同特殊鋼×大崎電気
・三重・鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分)	13:00～(女)	三重バイオレットアイリス×HC名古屋
	15:00～(男)	H o n d a×北陸電力
・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	13:00～(女)	広島メイプルレッズ×北国銀行
	15:00～(男)	湧永製薬×トヨタ紡織九州
9月23日(日)・愛知・ウイングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩15分)	13:00～(男)	トヨタ車体×豊田合成
9月24日(月)・熊本・山鹿市総合体育館(九州産交バス(山鹿行き)・山鹿バスセンター下車・車で福岡方向10分)	15:10～(女)	オムロン×ソニーセミコンダクタ九州

プレーオフ進出めぐり激戦必至 《男子》

〈大同特殊鋼〉

「さらなるスピードハンドボールの追求でリーグV3に挑む」が大テーマ。監督が代わり、外国人選手もオンコート1人となり、白元詰、李才佑、鞘範衍のいずれかしかコートに立てないが、それでも強いリーダーシップを発揮する松林をはじめ、ベンチの積極起用でキャリアを積んだルーキーを含む岸川ら若手の成長でレギュラー争いも激化している。生まれ変わったフェニックスの真価が問われるシーズン。まずはスタートダッシュに注目を。

〈トヨタ車体〉

香川、門山、藤田らに成長著しい佐々木、高智の台頭でバックプレーヤー陣が底上げされ、ポスト長谷川、両サイドの崎前、鶴谷らとの絡みで得点チャンスを切り開く。昨シーズン、初めてプレーオフに進出し、さらなる躍進を狙う酒巻監督は「メンバー総動員で車体カラーであるスピードあふれる力強いプレーを60分間展開したい」と開幕をにらみ、「すべてのチームパフォーマンスにおける精度アップ」を最課題にあげた。あとは進撃あるのみだ。

〈北陸電力〉

チームに欠かせない左腕に成長した桜井をはじめ、新人ながら高い得点能力を持つ山原の加入など、中堅、若手の成長、台頭もあって選手層に厚みが加わり、エース神田の負担が軽減したのがプラス材料。「チーム全体のレベルが高まりつつあり、昨シーズンよりも楽しみな試合ができると思う」と語る角谷監督のもと、「勝ちにこだわるハンドボールを浸透させてきた」成果を前面に押し出し、前回7位からのランクアップを狙う。

〈湧永製薬〉

山口、GK坪根、下川らベテラン組の安定感に加え、リーダー格となる古家、東らの充実、さらには東長濱、武藤、GK志水ら若手の成長も著しく、近年にないバランスの取れたチーム力で7月の全日本実業団に優勝を遂げた。俊足ルーキーの新がレギュラー争いに名乗りをあげるなど勢いは十分。「長らく遠ざかった栄冠の二文字を勝ち取るためにチーム一丸となって戦うのみ」と10年ぶりのタイトル奪回へ熱く燃える中山監督だ。

〈Honda〉

紙一重の差でプレーオフ進出を逃した悔しさ、厳しさを胸に秘めての参戦。「GK四方、吉井の存在が刺激を与え、昨年よりスピード、強さがあるDFができるようになった」と手応えを口にした荒木監督は、新キャプテン中谷、河瀬、野嶋らのいっそうの奮起を期待するとともに、大砲・小倉の穴を埋めるキーマンに3年目の竹田を指名した。層の薄さは否めないだけに、いかにロングランの戦いをケガなく乗り切るかもポイントを握る。

〈豊田合成〉

一挙に8人もの新人が加入したことで、さらにフレッシュを増した豊田合成。7月の全日本実業団では11位に終わり、その若さを勢いに変えることはできなかったが、新キャプテンの中村、攻守の要となる畠中、ケガから復帰の左腕・大植、新加入ながら計算できる椿原らを中心に進撃を狙う。今期から采配をふるう佐藤監督は「前回以上の飛躍を疑わないのは選手自身であり、それぞれの成長をコート上で注目したい」と期待をこめた。

〈大崎電気〉

3位に終わった昨シーズンの悔しさをぶつける今リーグ。ベテラン、中堅、若手と様々な戦力が充実、層が薄かったポストと中央を守る選手として新人・望月の加入があり、控えセンターの岩永も実業団のコンタクトに慣れ、徐々に持ち味のシュート、バステクニックを発揮するなど計算できる選手は確実に増えつつある。「組織の中で個々の能力を最大限に引き出し、攻守ともに攻撃的、頭脳的なハンドボールをめざしたい」と首藤監督。

〈トヨタ紡織九州〉

3：3、4：2などのアグレッシブなDFからのスピードあふれる攻撃が身上。ツボにはまったときの強さ、勢いは上位陣も警戒するが、いったんリズムを崩したときのもろさが増えるポイントとなる。センター呉相民、サイド村上らのテクニクは健在だけに、この浮き沈みの激しさを、強打を誇る中畠、藤山、泉原らの成長で補うことができれば、2年ぶりのプレーオフ進出への視野が開けてこよう。序盤を白星先行で勢いをつかみたい。

〈トヨタ自動車〉

14年ぶりにトップリーグで戦った前は1勝17敗で最下位。「自分自身も何もできないまま終わったしまった」と采配1年目のシーズンを振り返った永井監督。「昨年の経験を活かし、新たな気持ちで挑戦する」今リーグは、スピードハンドを目標に、粘り強く熱いゲーム展開に活路を求めての参戦だ。スピーディなゲームメイクと高打点シュートが光る山口、高校ルーキーながらトヨタの若きエースとして登場する多和田らの活躍に注目。

クイーンの牙城に迫るのは？

《女子》

〈オムロン〉

安定感ある試合運びでV2に輝いた前回だったが「相手の速い試合運びと走力に苦しんだ試合も多かった。できるだけメンバー交代しないチームを目指してアップテンポの試合に対応したい」と黄ヘッドコーチ。機動力のある守りをベースに素早い攻撃に転じるスタイルは不動。キャリアあふれる主軸組に加え、オールラウンドの吉田、攻めるキーピングが魅力のGK藤間、学生ルーキーの市村らが台頭すれば、さらにクイーンの牙城は鉄壁となる。

〈広島メイプルレッズ〉

「前は若手に多くの経験を積み、意味あるシーズンを送った。今シーズンは昨年のメンバーにプラスαを補強し、お互い切磋琢磨しながら頂点を目指したい」と林五卿監督。エース金鎮順、抜群のシュート確率を誇るポスト土屋、サイドの名手・大前、GK高森らの力は十分に計算できる。この1年で地力アップした菅野らに、新ポイントゲッターとして期待がかかるルーキー植垣の爆発力を絡ませ「ストップ・ザ・オムロン」を狙う。

〈ソニーセミコンダクタ九州〉

オムロンの対抗馬と目されながら3年連続3位に甘んじた前回の悔しさをバネに「去年以上の攻撃力、スピード、そして、どこにも負けないチームワークでリーグ優勝を狙いたい」と緒方監督。日本女子の第一人者・田中と郭恵静のコンビは絶対の力を誇るが、やはり2人への依存度をいかに少なくするかが、今シーズンも課題として残る。司令塔の長野、新キャプテンとしてチームの先陣に立つポスト高柄らのさらなる奮起に加え、亀山、ルーキー樋口らニューパワーの台頭が待たれるところだ。

〈北国銀行〉

「課題の得点力不足をカバーするには速攻が最大のポイント」（荷川取監督）として、キャプテン小野澤を中心にしたアグレッシブなゲーム展開に磨きをかけてきた。7月の全日本実業団は走力プラスして上町、武井のロングも決まり、2位に食い込んで上昇ムードをアピール。加えて若松、横嶋、新田、ルーキー仲宗根、佐久川ら若手の進境もあり、ポジション争いも激化しつつある。この勢いをふくらませれば“北国旋風”の予感も。

〈HC名古屋〉

3年連続5位から1つでもランクアップを目指す今シーズンは、コミュニケーションを密に、得点力アップを課題に取り組んできた。本澤、菅谷、佐藤らバックプレイヤーの攻撃に、ポスト、サイド陣がうまく絡み、バランスよく得点できれば勝機も生まれてこよう。厳しい練習環境は変わらないが「ハンドボール、チームへの愛情を誇りに、どのチームにも負けないチームワークでプレーオフ進出を狙いたい」と田中ヘッドコーチはきっぱり。

〈三重バイオレットアイリス〉

5人の新人を加え、チーム一丸となって参戦2年目のシーズンに挑む。チーム目標は「Must5勝」だ。GK毛利、高さのある菊池らが加わったDF力アップに手応えを感じている田口監督だが「まだ速い展開の中では共通理解を得ていない」と課題をあげ、キャプテン桂、日本代表の伊藤らには「もっとプレーの質を高めてほしい」と期待をこめての注文を。とはいえ前回から攻守ともランクアップしていることは確か。まずは初戦勝利で波に乗りたい。

第31回リーグ結果

男子							女子								
	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差		勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
(日)大同特殊鋼	18	0	0	36	668	437	231	(日)オムロン	13	1	1	27	502	339	163
(月)湧永製薬	14	0	4	28	608	427	181	(月)広島メイプルレッズ	10	1	4	21	446	385	61
(火)大崎電気	14	0	4	28	604	446	158	(火)ソニーセミコンダクタ九州	10	0	5	20	494	431	63
(水)トヨタ車体	11	0	7	22	630	506	124	(水)北国銀行	8	0	7	16	400	375	25
(木)ホンダ	11	0	7	22	499	457	42	(木)HC名古屋	1	2	12	4	281	460	-179
(金)トヨタ紡織九州	10	0	8	20	526	526	0	(金)三重花菖蒲	0	2	13	2	300	433	-133
(土)ホンダ熊本	5	0	13	10	458	562	-104								
(祭)北陸電力	3	0	15	6	466	587	-121								
(祝)豊田合成	3	0	15	6	397	640	-243								
(自)トヨタ自動車	1	0	17	2	355	623	-268								

※順位はレギュラーシーズン終了時
男子1～4位、女子1～3位の順位はプレーオフで決定
男子の2～3位は総得失点差、4～5位は対戦間得失点差、8～9位は対戦間勝ち点による。

男子プレーオフ準決勝 ☑ 大同特殊鋼 ☒36 — 29 ☒ トヨタ車体 ☑ 湧永製薬 31 — 28 ☒ 大崎電気
決勝 ☑ 大同特殊鋼 ☒27 — 24 ☒ 湧永製薬
女子プレーオフ準決勝 ☑ 広島メイプルレッズ ☒38 — 30 ☒ ソニーセミコンダクタ九州 ☒
決勝 ☑ オムロン ☒33 — 24 ☒ 広島メイプルレッズ

第31回日本リーグ個人表彰

【個人表彰】

男子1部

・最高殊勲選手賞	末松 誠 (大同特殊鋼)	初
・最優秀監督賞	姜 在 源 (大同特殊鋼)	2 回目
・殊勲選手賞	山口 修 (湧永製薬)	初
・得点王	神田 友和 (北陸電力)	127点
・フィールド得点賞	神田 友和 (北陸電力)	127点
・シュート率賞	渡辺 正樹 (湧永製薬)	0.664
・7mスロー得点賞	原 貴之 (豊田合成)	36点
・7mスロー阻止率賞	松延 弘樹 (ホンダ熊本)	0.435
・最優秀選手賞	白 元 喆 (大同特殊鋼)	3 回目
・ベストセブン賞	GK 高木 尚 (大同特殊鋼)	初
	CP 渡辺 正樹 (湧永製薬)	初
	猪妻 正活 (大崎電気)	初
	山口 修 (湧永製薬)	6 回目
	白 元 喆 (大同特殊鋼)	4 回目
	李 才 佑 (大同特殊鋼)	初
	宮崎 大輔 (大崎電気)	3 回目
	富田 恭介 (大同特殊鋼)	初
・ベストディフェンダー賞	富田 恭介 (大同特殊鋼)	初
・フェアプレー賞	豊田 合成 110点/18試合 (6.1点/試合)	
・最優秀新人賞	門山 哲也 (トヨタ車体)	

女子1部

・最高殊勲選手賞	勝田 祥子 (オムロン)	2 回目
・最優秀監督賞	黄 慶 泳 (オムロン)	2 回目
・殊勲選手賞	高森 妙子 (広島メイプルズ)	初
・得点王	郭 惠 静 (ソニセミコダ 九州)	110点
・フィールド得点賞	郭 惠 静 (ソニセミコダ 九州)	103点
・シュート率賞	水野 恵子 (オムロン)	0.821
・7mスロー得点賞	吉田 祥子 (オムロン)	69点
・7mスロー阻止率賞	勝田 祥子 (オムロン)	0.423
・最優秀選手賞	田中美音子 (ソニセミコダ 九州)	3 回目
・ベストセブン賞	GK 勝田 祥子 (オムロン)	2 回目
	CP 水野 恵子 (オムロン)	初
	佐久川ひとみ (オムロン)	6 回目
	土屋 友美 (広島メイプルズ)	初
	金 鎮 順 (広島メイプルズ)	2 回目
	郭 惠 静 (ソニセミコダ 九州)	3 回目
	田中美音子 (ソニセミコダ 九州)	10回目
	坂元 智子 (オムロン)	2 回目
・ベストディフェンダー賞	坂元 智子 (オムロン)	2 回目
・フェアプレー賞	ソニセミコダ 九州 103点/15試合 (6.9点/試合)	
・最優秀新人賞	野路 良子 (北国銀行)	
・最優秀レフェリー賞	レフェリー 家永 昌樹 (大阪) 福島 亮一 (長崎)	
・最優秀新人レフェリー賞	該当者なし	



前回MVPの④大同・末松⑤オムロン・勝田

...日本リーグのホットな情報をどうぞ...

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHL ニュース」

年間 21 回発行予定/3000 円 (郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)